

作成日 2016 年 05 月 30 日

改訂日 2016 年 06 月 10 日

## 製品安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : スピード 30  
整理番号 : QB-8014-02  
会社名 : メーカー株式会社  
住所 : 〒189-0003 東京都東村山市久米川町 5-33-11  
電話番号 : 042-393-2345  
FAX 番号 : 042-395-3253  
担当部門 : 技術部  
緊急連絡先 : 042-393-2345

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 通常の取扱いでは有害性はない  
特定の危険有害性 : 知見なし

#### GHS 分類

物理化学的危険性 : 区分外または、分類対象外  
健康に対する有害性 : 区分外または、分類対象外  
環境に対する有害性 : 区分外または、分類対象外

#### GHS ラベル要素

絵表示 : 非該当  
注意喚起語 : 非該当  
危険有害性情報 : 非該当  
P R T R : 非該当  
労働安全衛生法対象物 : 非該当

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物  
化学名 : 主成分 硫酸カルシウム 1/2 水塩  
(焼石膏若しくは半水石膏)  
成分及び含有量 : 主成分 焼石膏  
含有量 非公開

他 : 無機質系充填材、添加物、防カビ剤 (有機窒素化合物・有機窒素ハロゲン系化合物、無機系化合物の混合物)

アスベスト又はアスベスト含有原料は使用していない

鉛又は鉛含有原料は使用していない

化学式又は構造式	:	主成分	CAS04・1/2H20
官報公示整理番号	:	化審法	主成分 1-193
		安衛法	主成分 1-193
CAS No.	:	主成分	26499-65-0

#### 4. 応急措置

目に入った場合

- ・ 直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸引した場合

- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 : この物質自身には可燃性はほとんど無いが周辺の状況に適した消火剤を使用する

特定の消火方法 : 移動可能な容器は安全に行える限り火災場所から搬出する

消火を行う者の保護 : 消火作業従事者は適切な保護部を着用する

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用し、回収が終わるまで十分な換気を行い、目、皮膚への接触や吸引を避ける。

環境に対する注意事項 : 下水、排水、河川等に流してはならない。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・ 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・ 取扱う場合は、局所排気内又は全体換気の設備のある場所で取扱う。

安全取扱い注意事項

- ・ 保護具を着用して作業を行う。
- ・ 眼に入れないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・ 換気の良い場所で取扱う。

保管

適切な保管条件

- ・ 湿気は厳禁。 解放放置しない
- ・ 凍結、直射日光を避け、涼しい場所、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- ・ 保管時の温度は 5℃以下あるいは 35℃以上にならないようにする。

安全な容器包装材料

- ・ 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない。
許容濃度	:	日本産業衛生学会（2009年度版） : 設定されていない ACGIH（2009年度版） : 設定されていない
設備対策	:	換気をよくする。 集塵機を設置する

保護具

- |              |   |                |
|--------------|---|----------------|
| ・ 呼吸用保護具     | : | 防塵マスク          |
| ・ 手の保護具      | : | ゴム手袋           |
| ・ 眼の保護具      | : | 防塵メガネ          |
| ・ 皮膚及び身体の保護具 | : | 作業着、安全靴        |
| ・ 衛生対策       | : | 作業中は飲食、喫煙をしない。 |

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- |          |   |                  |
|----------|---|------------------|
| ・ 形状     | : | 微粉末              |
| ・ 色      | : | 薄黄色              |
| ・ 臭い     | : | 無臭               |
| ・ pH     | : | 約 7.0~9.4 (ペースト) |
| ・ 融点/凝固点 | : | データなし            |
| ・ 沸点     | : | データなし            |

## スピード 30

・ 引火点	:	なし
・ 発火点	:	データなし
・ 爆発範囲	:	なし
・ 蒸気圧	:	データなし
・ 蒸気密度 (空気=1)	:	データなし
・ 比重 (嵩比重)	:	2.64 (焼石膏)
・ 水に対する溶解度	:	水 (25℃) ・ 0.7g/100ml (焼石膏)

### 10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の条件において安定
反応性	:	水と接触すると水和反応し凝固する
危険有害反応可能性	:	通常の状態においては、反応性なし
避けるべき条件	:	日光、熱
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	硫酸化物

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	:	情報なし
急性毒性 (経皮)	:	情報なし
急性毒性 (吸引: ガス)	:	情報なし
急性毒性 (吸引: 蒸気)	:	情報なし
急性毒性 (吸引: 粉塵、ミスト)	:	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	:	情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	:	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	:	情報なし
皮膚感作性	:	情報なし
生殖細胞変異原性	:	情報なし
発ガン性	:	情報なし
生殖毒性	:	情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	情報なし
吸引性呼吸器有害性	:	情報なし

### 12. 環境影響情報

水性環境急性有害性	:	情報なし
-----------	---	------

水性環境慢性有害性 : 情報なし  
環境中での生態毒性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

- ・ 廃材料、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機械措置等を洗浄した排水等は、地面や下水へそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理するか委託すること。

14. 輸送上の注意

共通

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規制

- ・ 陸上輸送 : 道路交通法に定めるところに従うこと。
- ・ 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- ・ 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

国連分類 : 国連分類に該当しない

国外規制 : 輸出先の法規に従うこと。

15. 適用法令

毒物および劇物取締法 : 該当しない

化学物質管理推進法 : 該当しない

船舶安全法

船舶による危険物の運送基準を定める公示 : 該当しない

労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規制

16. その他の情報

主な引用文献

- ・ JIS Z7253(2012) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示および安全データシート (SDS)
- ・ JIS Z7252(2014)GHS に基づく化学品の分類方法
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP : GHS 分類結果
- ・ 中央労働災害防止協会 HP
- ・ 原料メーカーSDS

- 危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。
- この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の手扱いを対象としたものです。
- 本製品は、この製品安全データシートをご参考の上、使用者の責任において適性に取り扱ってください。
- ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。